



ニチレキは新たな価値を「プラス」するサステナビリティへ。

足すサステナビリティ

ノアの橋梁。

方舟への浸水を防いだアスファルトの力。
橋を守るために、ニチレキはこの力をどう進化させたのか。

各製品・工法の動画はこちら▽

smart 床版キャッチャー



高耐久型橋梁床版防水



まもるのは、
時代をつなぐ「橋」。
ニチレキ

旧約聖書の(創世記第六章)には、
神がノアに伝えたと言われる方舟の造り方が
詳細に記されています。その中には、方舟の防水材料として
なんとピッチ(アスファルト)が利用されていた、
という記述があります。
創世記が編さんされたのは紀元前5世紀ごろと言われますが、
当時、すでにアスファルトの防水性が理解されていたという
事実には驚きを隠せません。
現代の道路インフラである橋においても、
防水は非常に重要なテーマ。橋げたの上にある
「コンクリート床版」に水が染み込んでしまうと
内部の鉄筋が腐食し、劣化が早まるからです。
こうした事態を防ぐため、ニチレキはアスファルトの力を
強化した高性能な防水材料を用いて水の浸入を防ぎます。
防水性に優れた橋は、耐久性が高く、長寿命。補修工事の
頻度を減らせ、CO₂排出量も削減できます。
さらにニチレキは、床版の健全度を電磁波を使った
独自の計測車両「smart 床版キャッチャー」で点検し、
AIで解析。手を打つ必要がある箇所をいち早く発見し、
適切な対処方法の選定を可能にしました。
橋は、人をつなぎ、交通をつなぎ、経済をつなぐライフライン。
日常を途切れさせないためにも、
長持ちさせなければなりません。
ニチレキは、ノアと多くの生き物たちの命を救った
アスファルトによる防水技術を時空を超えて
進化させるとともに、最先端の点検技術と組み合わせ
現代と未来に生きる人の安全を守ります。

